

— 法政大学 —

2月5日 T日程 英語

解答

〔Ⅰ〕

問1 b	問2 d	問3 b	問4 a	問5 c
問6 d	問7 c	問8 b	問9 a	問10 c
問11 d	問12 a	問13 b	問14 a	問15 c

〔Ⅱ〕

問1 c	問2 b	問3 d		
問4 a	問5 c	問6	2番目:d	4番目:a
問7 b	問8 d			

〔Ⅲ〕

問1 c	問2 (A)a (B)g (C)e (D)d
問3 d	問4 3番目:a 5番目:f
問5 c	問6 b
問7 a	問8 c

〔Ⅳ〕

1. (A)c (B)b (C)g (D)f (E)a
2. d
3. b
4. a
5. c
6. a
7. b

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

〔I〕

- 問 1 受動態の分詞構文を用いた英文。空所の直後に目的語が無いことが手掛かり。
- 問 2 for the sake of～「～のために」
- 問 3 no と not は一緒に使わないので選択肢 a は不適。文意を考えると選択肢 c は不適。any と not については、not～any の語順で使うので選択肢 d は不適。
- 問 4 not～at all 「全く～ない」
- 問 5 particularly 「特に」
- 問 6 wait for O to V 「O が V するのを待つ」
- 問 7 make for～「～に役立つ／向かって進む」
- 問 8 clue 「手掛かり」
- 問 9 take advantage of～「～を利用する」
- 問 10 put on～「～を着る」
- 問 11 breathe new life into～「～に新しい命を吹き込む」
- 問 12 regardless of～「～にかかわらず」
- 問 13 follow～「～に従う／倣う」
- 問 14 despite～「～にも関わらず」
- 問 15 take effect 「(法律が)効力を発揮する」

〔II〕

- 問 8
- a. 途上国が世界の人口の少数派であるという記述はない。
- b. 第 6 段落参照。Latin American women について書かれているのはスペインの Wikipedia である。
- c. 第 7 段落参照。カリフォルニアのゴールドラッシュは Native American の共同体に対してマイナスの影響を与えたのである。
- d. 第 8 段落の内容と一致する。
- e. 第 8 段落参照。ユーザーも情報の公平性に対して責任がある。

〔Ⅲ〕

問 8

- a. 第 7 段落参照。reactionary movement の目的は、新しい政府を作るのではなく、社会的変革を妨げたり、もうすでに達成された社会的変革を元に戻すことである。
- b. 第 8 段落参照。self-help movements の目的は、個人的な生活状況を改善することであり、国家による干渉から身を守ることではない。
- c. 第 2 段落の内容と一致する。
- d. 第 2 段落参照。social movements の目的は社会的、経済的、文化的な変革を生み出す、または崩壊させることであり、政党を作ることではない。

〔Ⅳ〕

- 7. 選択肢 b の by scientists の部分が本文と不一致。第 1 段落に、conventionally regarded as a heartless killer 「伝統的に冷酷な殺し屋とみなされていた」とある。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！